

研究活動報告（令和四年一月～十二月）

〔学 会〕

三月十八日 創価大学『日本語日本文学』第三十二号 発行

十月十四日 日本語日本文学会（学生の部）十三時〇五分
～ AB一〇三教室

十一月十一日 日本語日本文学会 令和四年度年次大会
十五時～ AE三五一教室（オンライン同時開催）

〔会 員〕

◇山本忠行教授◇

三月十五日 国際交流基金日本語パートナーズ事業委員会
（オンライン）に委員として出席。

三月二十二日 「日本語教育振興協会評議員会」（オンライン）
に評議員として出席。

六月五日 大学日本語教員養成課程研究協議会理事会に監
事として出席

六月二十四日 「日本語教育振興協会評議員会」（オンライン）
に評議員として出席。

八月七日 論文「言語による価値創造を目指して(6)」「教科書『で』教える」とは―」「創価大学通信教育部論集」二十五号、pp.71-91

十一月十九日「コミュニケーションを通じてコミュニケーションを学ぶとは」日野国際友好クラブで講演

十一月一日「自立学習入門講座63―要約の技法―」を創
価大学通信教育部『学習支援便り11月号』に執筆。

十二月二十日「日本語教員養成の変遷」大学日本語教員養成課程研究協議会編『日本語教育学研究10 社会を築くことばの教育 日本語教員養成のこれまでの30年、これからの30年』コロ出版 pp.35-46

◇平林香織教授◇

七月九日 講演致道博物館主催土曜講座「酒井忠徳と点取俳諧」山形県鶴岡市致道博物館

十月二十日 講演ルネッサンス・角館主催 第34回歴史と文化フォーラム講演会「佐竹北家の点取俳諧」秋田県仙北市角館蒲細工伝承館

十二月二十五日 単編著『書いて読み解く「日本文学史」
—クリティカルリーディングによる文学の歴史—』世音
社、総ページ数204ページ

十二月二十五日 単編著『書いて読み解く「紫式部」—ク
リティカルリーディングによる『源氏物語』』紫式部日
記—』世音社、総ページ数186ページ

◇山岡政紀教授◇

三月十六日 第十三回日本語コミュニケーション研究会を
オンラインにて主催者として開催。科研費の研究分担者・
協力者を中心に十九名が参加。

三月十六日 基調講演「配慮表現データベース現課題の総
括と新課題の構想」

三月二十日「日本語配慮表現データベース構築プロジェクト
報告(四)—二〇二一年度の活動報告—」『日本語コミュ
ニケーション研究論集』第十一号、日本語コミュニケーション
研究会

四月一日 科学研究費補助金基盤研究B研究課題「多言語
配慮表現データベースの構築と配慮表現辞典の編纂」(令
和四年度〜令和七年度)が新規採択となる。

六月十九日『日本語配慮表現辞典』第一回執筆者協議会
(オンライン)

七月三日「マイナス評価の配慮表現に関する日中対照」
(李奇楠氏と共著)『日本語用論学会第二十四回大会発表
論文集』第十七号、日本語用論学会

七月三日「副詞による賛同表現の日英対照」(甲田直美氏・
西田光一氏と共著)(同右所収)

八月二十二日〜二十四日 第十四回日本語コミュニケーション
研究会(合宿)を静岡駅前会議室にて主催者とし
て開催。科研費の研究分担者・協力者を中心に十五名が
参加。

八月二十三日 基調講演「配慮表現辞典編纂の取り組み」
(第十四回日本語コミュニケーション研究会)

八月二十四日 来日中の海外(エジプト、フランス、韓国)
日本語研究者三名と談話会を開催(創価大学)

八月二十八日 講演「楽しく学ぶ日本語の配慮表現」創価
大学夏季大学講座

九月十日「日本語の文法と語用論—モダリティから発話機
能へ—」『日本語学』第四十一巻第三号、明治書院

十一月八日「PSJと語用論の発展のために」『日本語用
論学会 Newsletter』第四十八号 日本語用論学会広報
委員会

十一月二十日「尊厳の記号学—尊厳心へへの人間学的アプ
ローチ—」『東洋学術研究』第六十一巻第二号、東洋哲

学研究所

一月～十二月 日本語用論学会評議員・常任委員(四月より副会長)として、学会運営、査読等にあたる。

◇守屋三千代教授◇

九月二日 科研費による研究会。十時より十二時まで
(Zoomミーティング) 議題:「各言語における『ナル的表現』の記述について」

九月六日 科研費による研究会。十四時より十六時まで
(Zoomミーティング)

十二月十八日 科研費による書籍『ナル的表現』の通言語的研究—認知言語学と哲学をふまえて—』刊行に向けた最終打ち合わせ。(終日ミーティング)

十二月二十四日 同書籍刊行に向けた出版社への原稿送付の完了。

◇山中正樹教授◇

一月二十六日 『川端康成 生涯と文学の軌跡』(鼎書房)

《単著》

三月十八日 論文「三浦哲郎「盆土産」(『国語Ⅱ』光村図書)を読む—〈第三項〉と〈語り〉から浮かび上がる、真相の〈意味〉—」(『創価大学日本語日本文学』第

三十二号、PP1-22)《単著》

七月四日 書評「川端康成 運命のひと 伊藤初代 森本稜著」(『公明新聞』二〇二二年七月四日付五面「読書」《単著》)

十二月十日 講演「川端康成の生涯と文学 第一回 川端康成の生涯」(於、八王子生涯学習センター川口分館)

十二月十七日 講演「川端康成の生涯と文学 第二回 川端康成の文芸—「雪国」を中心に—」(於、八王子生涯学習センター川口分館)

◇大塚望教授◇

三月二十日 論文「日本語における代動詞—『する』と『やる』に見られる代示性—」『日本語日本文学』三十二号、一ページ～十七ページ、創価大学日本語日本文学会

◇李丹助教◇

三月一日 論文「日本語の配慮表現とその中国語訳からわかること」『日本語コミュニケーション研究論集第十一号』日本語コミュニケーション研究会編

八月二十一日 研究発表「配慮表現の配慮機能について—中国語訳との比較を通して—」:分科会の司会担当(第十三回漢日対比語言学研討会・漢日対比語言学研究(協

作) 会主催・於中国山東大学)

十二月四日 「日中国交正常化五十周年記念・創価大学創立者杯第四十九回中国語弁論大会」に審査員として出席
十二月九日 研究発表「日本語配慮表現の研究と中国語語

用論の研究」(第六回漢語語言与話語国際研討会・マカオ大学人文学院中国語言文学系、香港理工大學人文学院中文及双語学系主催・於中国マカオ)

一月～十二月 科研費補助金基盤研究B 研究課題「日本語配慮表現辞典の基盤形成のための配慮表現正用・誤用データベースの構築」(課題番号18H00680 2018-22年度 研究代表者山岡政紀) 研究分担者

一月～十二月 科研費補助金基盤研究B 研究課題「多言語配慮表現データベースの構築と配慮表現辞典の構築」(課題番号22H00670 2022-26年度 研究代表者山岡政紀) 研究分担者